

## 大震災・原発事故から2年半 フクシマの現状を聞く集まりを開きます



お話 フクシマの「声なき いのちのさけび」(絵語り)  
あとリエとおのさん

と き：12月1日(日)午後1時30分より

お話は約60分、その後質疑応答の時間を設けます。

ところ：岩岡連絡所多目的ホール(大)

入場無料

福島支援のカンパ箱を置きます。集まったお金は、あとリエとおのさんを通じて福島に届けていただきます。

東京電力福島第一原子力発電所で起こった事故はいまだ収束せず、福島県だけでも約16万人の人々が避難生活を強いられています。

あとリエとおのさん(1975年福島県伊達市生まれ)は、原発「事故」によって福島を襲った惨状そのものだけでなく、それを引き起こした加害責任者側のイメージを描き出すことで、全国に存在する原発=核を推進する力を感じられるように描き出しています。

2012年4月、スペインで行われた欧州チェルノブイリ追悼イベントに「福島の証言者」として参加、6都市9会場で講演して来られました。

2013年に明石に避難、移住し、活動を続けておられるあとリエとおのさんに、自作の絵を用いて語っていただきます。大勢の方にご参加いただき、フクシマの現状を知っていただきたいと思います。

### 文化行事は

## 太鼓の演奏とエイサー

毎週岩岡連絡所で練習されている「神戸ろう太鼓集団 鼓神」の皆さんに演奏とエイサーを踊っていただきます。

### 「鼓神」プロフィール

2003年4月、聴覚障害者を中心に結成(代表・水野洋子)。和太鼓部とエイサー部があり、会員は合わせて12名。現在活動しているのは、聴覚障害者8名、健聴者1名です(健聴者2名休会中、ろう者1名病気療養中)。神戸市須磨区と西区でボランティア団体として登録し、高齢者施設などで演奏活動をしながら、聴覚障害者団体のイベントや一般公募のイベントにも積極的に参加しています。

かねてから神戸の地で聴覚障害者の太鼓の会を創りたいという夢がありました。それで太鼓の好きな仲間が集まってスタートしました。以来「聴こえなくてもやればできる」「あきらめない」を合言葉に頑張っています。聴こえなくてもいろいろ工夫して自分たちなりの演奏を心がけています。また太鼓の響きを体で感じながら演奏を楽しむということも大切だと思っています。日々試行錯誤ですが、ハンデに甘えることなく、常に上を目指すことを忘れないで練習を重ねています。



## 中国が「勢力圏」の範囲を拡大し、軍事力を強化している東アジアにおいて、日本は具体的にどういう道をとるべきなのか—『憲法九条の軍事戦略』(松竹伸幸著)から

(前号のつづき ・の文は本の小見出しです)

- ・日中は、経済的にはお互いを必要としている
- ・しかし経済と軍事には別の法則が働く
- ・日本の役割は、米中の軍事対立の緩和である

- ・日中両国に防衛交流の拡大を願う声がある

2012年に実施された調査では、20年を超える歴史のなかではじめて、アメリカ以外の国と防衛交流することについての意識調査が行われた。そういう交流が「日本の平和と安全に役立っていると思うか」という問いに対して、

役立っている 80.5% (役立っている39.6%、どちらかといえば役立っている40.9%)

役立っていない 9.4% (役立っていない1.5%、どちらかといえば役立っていない7.9%)

「役立っている」と答えた人に、「どの国や地域と防衛上の交流を深めていくことが日本の平和と安全にとり役に立つと思うか」と聞いたところ、「中国」をあげた人の割合が61.7%と最多であった(その次は「韓国」61.5%で、ほとんど同じ数字)。

国民は、不安を感じている国との防衛交流を望んでいるようである。

- ・尖閣問題では、中国に軍事的対応を拡大させる口実を与えるな
- ・軍事対応強化の応酬は、日本の実行支配を揺るがしてしまう

日本が、自分の領土、領域、領空を確固として守るという姿勢を明確にし、そのための態勢を維持することは必要である。尖閣諸島を日本が実行支配している現状を少しでもゆるめるような態度をとることは、中国に対して現状変更が可能であるとのメッセージを与えることになり、中国が軍事バランスを乱す行動に出る可能性を生み出し、かえって不安定さと呼び込むことになると思う。

具体的にいえば、求められているのは、尖閣に対する日本の主権を維持しつつ、中国との協調をつくり出すという手段である。その有力な手段となるのは、2008年に東シナ海のガス田をめぐる合意した方式を生かして、尖閣諸島周辺の日本の領海と排他的経済水域において、海底油田を日中で共同開発するというものだと考える(漁業の共同もあっていい)。

- ・協調こそが日本の実効支配への道

『憲法九条の軍事戦略』の大筋を紹介しました。これだけでは分からない、納得できない、という声も多々あると思います。ぜひこの本を読んでいただき、まわりの方とお話し合い下さい。なお、松竹伸幸さんの考えが9条の会の考えということではありません。(念のため)



松竹伸幸さん

## 催し物の案内

### ①「自民党改憲草案」を先取り、「国家安全保障会議設置法案」「国家安全保障基本法案」「秘密保護法案」三点セットを考える 学習会

とき：10月7日(月)午後6時30分～ ところ：神戸市勤労会館308

講師：井上正信弁護士(広島弁護士会) 主催：兵庫県弁護士9条の会

### ②映画「標的の村」再上映(監督：三上智恵(琉球朝日放送アナウンサー) 必見です。

とき：10月12日(土)～14日(月・祝)18時40分～

ところ：神戸アートビレッジセンター(新開地) 鑑賞券：1,700円(シニア1,000円)

### ③9条世界会議in関西

とき：10月14日(月・祝)10:00～16:30

ところ：大阪市中央体育館(地下鉄中央線 朝潮橋下車すぐ)

参加協力券：一般1,000円 大学・専門学校生500円 高校生以下無料

参加ご希望の方は白井までお申し込み下さい。参加協力券をお届けします。

主催：9条世界会議・関西2013実行委員会

## 今年も販売します

2014みんな・なかよし憲法9条カレンダー(写真：岩合光昭) 定価：1,000円(税込み)

**第71回世話人会** とき：2013年10月12日(第2土曜日)

ところ：岩岡連絡所多目的ホール(小)

「自民党憲法改正草案」(第5回)の学習をします。

手紙と署名用紙を封筒に入れ、ポストインする準備をします。ぜひご参加下さい。

「憲法9条の会・岩岡」事務局 白井篤子(TEL/FAX 967-2758)